

気が付けば今年も半分過ぎました。梅雨だというのに強い日射しが照り付ける
7月1日、第128回ほほえみ交流カフェが開催されました。参加者は；－

| | | |
|-------|------|------|
| シニア | 19名、 | |
| 講師 | 2名 | |
| 見学 | 1名 | |
| 葛が谷薬局 | 2名 | |
| スタッフ | 7名 | 計31名 |



本日の講話は小林クリニック副院長、小林雅子先生。地域ではお世話になっている方も沢山おられると思います。お話のテーマは「訪問診療」 訪問診療をしたくて医師になったと仰るだけあって、お話に熱がこもります。

訪問診療制度がスタートして凡そ四半世紀。当初は通院不可能なほど重症患者の看取りが中心でしたが、現在は様々な理由で通院が難しい患者やその家族の生活の中にしっかりと組み込まれ、患者さんの生き方の一部として定着していると。

重篤な状態となった患者に対し、以前は病院で延命措置を講じるのが一般的でしたが、実は自宅での看取り望む方が65%もいらっしゃるそうです。治療は入院、療養は訪問診療という役割分担です。とはいうものの在宅医療にも当然ながらメリットもあれば、デメリットも。

- ・自宅にいるという安心感 ⇔ 医療資源の制限
- ・家族との時間が多く取れる ⇔ 家族の負担が大きい
- ・個別性の高いケア ⇔ 緊急時対応遅延懸念
- ・医療費軽減 ⇔ 専門医の訪問頻度低下
- ・生活の質の向上 ⇔ 感性的ストレス

課題解決、改善には、在宅医療を担う医師の人材確保に加え、夜間や休日の整備不足を補う訪問看護、そして家族・患者本人の不安や負担軽減に向けたケアマネージャーとの連携が欠かせぬようです。

訪問医療については、区が在宅医療相談室を開設。関心や疑問のある方は利用されては如何でしょうか。また近隣のケアプラザでも相談に乗っていただけるとのこと。

小林先生、これからも地域医療にお力をお貸しください。有難うございました。





本日のお楽しみコーナーは、モノマネ歌手、テレビなどメディアでもお馴染みの人気タレント、藤川なお美さんの登場です。

いきなり来ました。小林幸子の「おもいで酒」 衣装も小林幸子ばりのキラキラです。

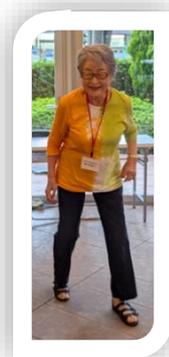
歌の合間のトークも流石に手慣れたもので、会場の皆さんをグングン「なお美ワールド」に引き込み「思い出酒」では、手拍子で盛り上がります。

そしてお次は美空ひばりメドレー。「りんごの唄」を始め、デビュー当時の歌メドレーでは、若い頃を彷彿させる衣装かと思えば、円熟期の「愛燦燦」では黒のシックなドレスと頭の羽飾り。

ディズニーの「眠れる森の美女」に登場する魔女「マレフィセント」だと自虐ネタで笑いを誘います。そして「お祭りマンボ」で会場全体が最高潮の中、ショー終了となりました。 ですが、会の終了時にアンコールに応え、先日亡くなった、いしだあゆみさんの「ブルーライト横浜」、中島みゆきさんの「地上の星」2曲もサービスいただきました。 本当に楽しいステージでした。



楽しいステージの後は、歌川さんのヨガ体操。 足首の柔軟性アップ、太もも内側筋肉、股関節と下半身メインに動かしました。 いつも有難うございます。



尚、本日はゲストとして、地域のイベントでお馴染みの

中村ハルさんがお見えで、いきなり1曲リクエストの無茶ぶりに「青い山脈」をご披露いただきました。 これに懲りずにまたきてください。

最後はいつものように「ふれあい丘の街」を皆さんで合唱してお開きとなりました。

次回は8月5日です。